P14 フラバンジェノール™の高血圧予防効果

○西村明、丸山真二郎、高垣欣也[1]
1（株式会社東洋新薬）

〔目的〕オリゴメリック・プロアントシアニジンを主成分とする松樹皮抽出物（フラバンジェノール™）は、優れた抗酸化作用および血管保護作用を併せ持ち、近年注目されている健康食品素材である。本試験はこの素材の機能性を調べる一環としてフラバンジェノール™の血圧に与える影響を自然発症高血圧ラット（SHR）を用いて検討した。

〔方法〕5 週齢の自然発症高血圧ラット（SHR）にフラバンジェノール™（0.5%および 2.5%）を添加した飼料および NaCl を 1%含有させた飲水を 28 日間摂取させ、血圧上昇に対する効果を収縮期血圧（SBP）を指標として評価した。SBP は週 1 回測定し、さらに 28 日間摂取終了時には心臓を摘出し重量を測定した。なお、対照群には一般飼料および NaCl を 1%含有させた飲水を 28 日間摂取させ、フラバンジェノール™摂取群と同様に血圧および心臓重量の測定を行った。

〔結果および考察〕フラバンジェノール™摂取群では対照群と比較して、用量依存的に血圧上昇の抑制が認められた。また、2.5%摂取群においては、有意な心臓重量（g/100g 体重）増加の抑制が認められた。
フラバンジェノール™は SHR に対して、血圧の上昇を顕著に抑制し、さらに血圧上昇に伴う心肥大も抑制していたことから、高血圧症に対する予防効果が期待できると考えられた。